

記事掲載：2022年12月

翻訳：2022年12月

年間 4000 万人 気候危機によって教育を受ける機会を奪われる子どもたち



© UNICEF/UN0286416/Akash

©Education Cannot Wait

英国外務・英連邦・開発省（FCDO）は、気候危機と世界の教育危機との明確な関連性を示す画期的な声明を発表しました。

声明では、「異常気象や緊急事態が増加する中で、すべての人のための教育の継続性を確保するための Education Cannot Wait（以下、「ECW」）の役割を強化する」ための継続的な支援を呼びかけています。気候危機は、全世界で毎年 **4,000 万人** の子どもたちの教育に影響を及ぼしています。国連の緊急・長期危機における教育のための世界基金である ECW によると、世界全体で **2 億 2200 万人** の子どもが、紛争、災害を含む気候、強制移住、長期化する危機の影響を受け、緊急の教育支援を必要としています。

気候変動が引き起こす災害は、子どもの通学や学校での学習に影響します。また、学校に通えたとしても、気温の上昇、干ばつ、洪水などの気候や環境の変化は、子どもの学習能力に影響を及ぼします。こうした学びへの悪影響は、貧困と不平等の連鎖を悪化させ、より希少化する天然資源をめぐる争いを助長しかねません。

「教育は、気候変動の影響への対応や、その緩和と適応のための取り組みにおいて必要であるものの、気候変動対策において非常に過小評価されています。教育は、脆弱性を減らし、コミュニティのレジリエンス（回復力）と適応力を高め、必要とされるイノベーションを特定し、個人が気候変動や環境変動の解決策の一部となる力を与えるために不可欠です」と、声明は述べています。

気候変動と女子教育は、英国の主要な国際開発目標であり、ECW が焦点を当てている[気候変動](#)、[強制移住](#)、[女子教育](#)への取り組みと密接に関連しています。

それにもかかわらず、声明は「気候や環境の変動が教育と切り離して見られることがあまりにも多い」とし、「これらの優先的課題に効果的に取り組みたいのであれば、それらがどのように関連しているかをよりよく理解し、統合的な解決策を見出さなければなりません」と指摘しました。

「教育課題は気候課題の中心に据えられるべきです。パキスタンやアフリカの角など、気候変動の最前線にある国々の女子教育に投資することで、私たちは飢餓や、強制移住や暴力の悪循環を終わらせることに投資しているのです。また、教育への投資は、次世代のために気候変動に耐性のある未来を確保するための最も強力な手段でもあります。ECW の創設者の一人として、またトップドナーとして、英国からの継続的かつ大胆な支援に深く感謝します」とヤスミン・シェリフ ECW 事務局長は述べています。

[FCDO の声明](#)は、気候危機に関連した教育の捉え方を変えることを求めています。教育が、気候変動の深刻な影響に適応するレジリエンス（回復力）と影響を緩和するための能力を向上させるポジティブなサイクルを育むものであるとしています。

女子教育への投資は、教育の捉え方を変える重要な要素です。「女子教育は人権であり、貧困削減、豊かで強靱な経済、平和で安定した社会の構築のためのゲームチェンジャーです。また、気候変動や環境問題への取り組みに貢献する可能性を持っています。また、[女子中等教育](#)は気候変動に対する脆弱性を軽減する上で最も重要な社会経済的な決定要因であると認識されています。

英国は ECW への 2 番目に大きな[ドナー](#)であり、これまでに 1 億 5900 万米ドルを拠出しています。主要な市民社会団体が賛同している[「Send My Friend to School（「友だちを学校に通わせよう」キャンペーン）](#)は、英国政府に対し、ECW への追加資金として 1 億 7000 万ポンドを拠出するよう求めています。

2023年2月16～17日にジュネーブで開催される [ECW ハイレベル増資会合](#)は、ドナー、民間セクター、富裕層が ECW にとって必要不可欠な資金を拠出し、パリ協定と SDGs（持続可能な開発目標）で示された約束を実現するための貴重な機会を提供します。

【翻訳前の記事（英語）】

[The Climate Crisis Disrupts the Education of 40 Million Children Every Year \(educationcannotwait.org\)](https://www.educationcannotwait.org/)

